

どうする！これからの日本

～「デジタルシフト」と「地方創生」という2つの観点で考える～

主 催：一般社団法人流通問題研究協会

日 時：2019年10月15日(火) 13時15分～17時

会 場：機械振興会館6階6D-4会議室

(プログラム)

13:15～13:30 ご挨拶

一般社団法人流通問題研究協会 会長 玉生 弘昌

13:30～15:00 講演Ⅰ

「迫りくるデジタルシフトの波に日本企業はどう立ち向かうか」

株式会社デジタルシフトウェブ 代表取締役社長 鈴木 康弘 氏

いま、世界では社会の大きな変化とITの劇的進化が同時進行で起き、本格的な情報化への移行、デジタルシフトがものすごい勢いで進んでいます。ゴールは「ネットとリアル融合」だとしても、そのゴールがどこにあるかは誰もわかりません。デジタルシフトの本質とはなんなのか。単なる業務の効率化や低コスト化と捉えられている限り、デジタルシフトの波から取り残されていくことでしょう。デジタルシフトは究極の顧客戦略であり、そのためには徹底した業務改革が必要なのです。(鈴木氏の著書「アマゾンエフェクト」まえがきより)これからの日本もいやがうえにもデジタルシフトへの移行が迫られます。

これからの日本企業が何を成すべきかを、経験豊かな鈴木氏から伺います。

<講師プロフィール>1987年富士通に入社。SEとしてシステム開発・顧客サポートに従事。96年ソフトバンクに移り、営業、新規事業企画に携わる。99年ネット書籍販売会社、イー・ショッピング・ブックス(現セブンネットショッピング)を設立し、代表取締役就任。2006年セブン&アイHLDGSグループ傘下に入る。14年セブン&アイHLDGS執行役員CIO就任。グループオムニチャネル戦略のリーダーを務める。15年同社取締役執行役員CIOを退任し、17年デジタルシフトウェブを設立、代表取締役に就任。デジタルシフトを目指す企業支援を実施している。著書に「アマゾンエフェクト」(プレジデント社)。

15:15～16:45 講演Ⅱ

「稼ぐまちが地方を変える」

一般社団法人エリア・イノベーション・アライアンス 代表理事
内閣府地域活性化伝道師 木下 斉 氏

地方創生として地方ではいまだに活性化のための巨大計画が策定されています。しかし地方では、住宅も、店舗も、公共施設も余っています。量的な「供給」は既に足りているのです。高校生時代から地域活性化事業に携わってきた著者が自らの体験をもとに、これからの地方のまちづくりをどうすべきかを、きれいごとは一切抜きで語っていただきます。地方が元気にならない限り日本は強くなりません。

<講師プロフィール>1982年、東京都生まれ。高校在学中の2000年に早稲田商店会の活動に参画したのを発端に、全国商店街合同出資会社の取締役社長に就任。05年早稲田大学政治経済学部政治学科卒業後、一ツ橋大学大学院商学研究科修士課程修了、修士(経営学)。07年より全国各地でまち会社に投資。経営を行う。09年全国のまち会社による事業連携・政策立案組織である一般社団法人エリア・イノベーション・アライアンスを設立、代表理事就任。著書に「稼ぐまちが地方を変える」(NHK出版新書)、「まちで闘う方法論」(学芸出版社)、「凡人のための地域再生入門」(ダイヤモンド社)などがある。

開催の趣旨

10月からの消費増税、そして来年の東京オリンピック・パラリンピックを契機に、日本はまた一つ大きな転換期を迎えることとなります。足元の景気指標が今一つパツとしない中で、企業間格差、地域間格差がますます広がっていくと考えられます。一方、生活者のライフスタイルや価値観、買い物行動はますます多様化しています。こうした状況の中で、今後の日本は何をすべきかを、「デジタルシフト」と「地方創生」という全く違う2つの側面から考えてみることにしました。

アマゾンドットコムの大進撃の陰で、業界や株価の低迷にあえぐ企業が増えています。一方、積極的にデジタル投資を行い、デジタルシフトを凶ってきたウォールマートの業績は絶好調です。デジタル化への対応が企業の明暗を左右した結果ともいえます。日本でもこうした波がもっと激しくやってくることは目に見えています。その対応の成否が日本企業の生き残りを左右すると言っても過言ではないでしょう。

「安倍内閣の最も重要な政策の柱」だと首相自らが強調する地方創生の十分な成果が見えてきません。地方が本当に元気になるには、地域の小さな企業やお店が、強い個性で小さな市場に適合し成長していくこと、すなわち「供給」でも「投資」でもなく、地域の小さな企業やお店が「稼ぐ」ようになり、その小さな企業やお店が地域で無視できない存在感を示すようになり、地域外からもその店や会社を目的に、そのまちを訪れる人が増え、地域全体に変化を与えるようになるのです。日本をもっと元気にする議論をしましょう。

一般社団法人流通問題研究協会 会長 玉生 弘昌

受講案内

●日時 2019年10月15日(火) 13時15分～17時

●場所 **機械振興会館 6階6D-4会議室**
東京都港区芝公園 3-5-8 Tel.03-3436-1686

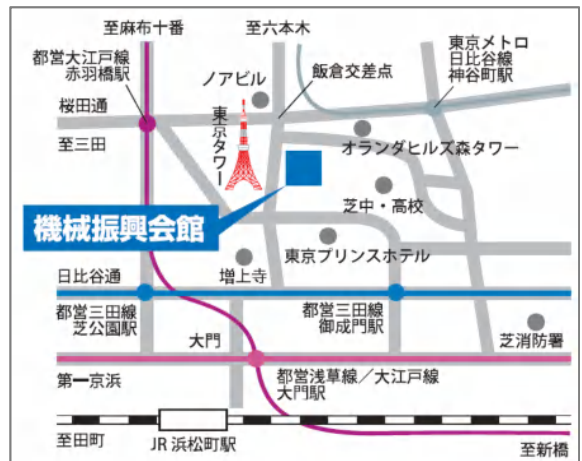
●参加費 **会員 10,000円 一般 30,000円(税込)**
(お申し込み後に請求書をご送付します)

●定員 60名(定員になり次第締め切ります)

●お申込 参加申込書に必要事項をご記入の上、
メールまたはFAXにてご送付ください。

(社)流通問題研究協会 事務局 元満
e-mail:motomitsu@idr.or.jp
Tel.03-3436-1686 Fax.03-3436-1690

会場案内図



東京メトロ日比谷線 神谷町駅 徒歩 8分
都営地下鉄三田線 御成門駅 徒歩 10分
JR山手線・京浜東北線 浜松町駅 徒歩 17分

参加申込書

一般社団法人流通問題研究協会 宛 (FAX : 03-3436-1690)

第38回 流通問題アカデミー(10月15日)に参加申込みします。

会社名		TEL
所在地	〒	FAX
参加者	氏名	所属・役職名
	メールアドレス	

(会員 ・ 一般 ・ ご招待)